～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名：高度門脈侵襲を伴う肝細胞癌に対する 全身薬物療法および全身薬物療法＋体幹部定位放射線治療併用療法の有効性と安全性に関する後ろ向き観察研究』

研究機関名　東邦大学医療センター大森病院

研究責任者　消化器内科　　職位・氏名：臨床教授　永井英成

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は高度門脈侵襲を伴う肝細胞癌に対する全身薬物療法および全身薬物療法＋体幹部定位放射線治療併用療法の有効性と安全性に関することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、全身薬物療法＋体幹部定位放射線治療併用療法が高度門脈侵襲を伴う肝細胞癌に対する新たな治療戦略の選択肢の一つになることにつながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

収集した試料・情報は解析・管理のため XX 大学 YY 学部 ZZ 講座（ABCD 医師）に提供します。

提供は（記録媒体、郵送、電子的配信、Web サーバーへの登録）の形式で行います。

【研究に用いられる試料・情報】

（例）試料：血液、手術で摘出した組織　等

（例）情報：病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報　等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024 年 8 月より利用を開始します/2024 年 9 月より提供を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院　　病院長　酒井　謙

【試料・情報の取得方法】

対象者：2018 年 4 月～2024 年 4 月までに東邦大学医療センター大森病院消化器内科において、高度脈管侵襲を伴った肝細胞癌の診断で診療を受けた方。

方　法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名：横浜市立大学附属市民総合医療センター　研究代表者：消化器病センター内科

役職：診療教授

【利用する者の範囲】

1 横浜市立大学附属病院 消化器内科(肝胆膵消化器病学) 米田 正人
2 神奈川県立がんセンター 肝胆膵内科 小林
3 東海大学医学部付属病院 消化器内科 加川 建弘
4 北里大学病院 消化器内科 日高 央
5 聖マリアンナ医科大学病院 消化器内科 渡邊 綱正
6 東邦大学医療センター大森病院消化器内科 永井英成
7 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器センター内科 森本 学

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院
:横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024 年 9 月 30 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科
職位・氏名 臨床教授 永井 英成
電話 03-3762-4151 内線 6520